

ベラルーシ共和国の医科大学生が学長を表敬訪問



ベラルーシ共和国医科大学生との記念撮影

8月7日、長崎・ヒバクシャ医療国際協力会（NASHIM）の招きで来崎し、本学においてヒバクシャ医療放射線医学研究に関する医療研修を受けるベラルーシ共和国の医科大学生3名が齋藤学長を表敬訪問しました。

ベラルーシ共和国からの医科大学生は、本学と学術交流協定を締結しているベラルーシ医科大学からドミトリ・ミフナベツ氏（3年生）、ドミトリ・ベラウサウ氏（5年生）とゴメリ医科大学からカチャーナ・ムンデラワ氏（4年生）の3名で、8月1日から8月12日までの約2週間、本学医学部及び医学部・歯学部附属病院での実習・視察、長崎の被爆者との公開セミナー、平和記念式典への参列等を行う予定です。

学長との懇談は、受入教員である医歯薬学総合研究科の高村教授を交えて、本学の歴史と現状の紹介や日本とベラルーシの医学教育事情等について、和やかに行われました。

（研究国際部国際交流課）